

ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

運用報告書(全体版) 第11期

(決算日 2021年7月20日)

(作成対象期間 2021年1月21日～2021年7月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	10年間（2016年1月21日～2026年1月20日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期末(2019年7月22日)	11,219	200	6.6	14,001	5.0	—	99.0	6,534
8期末(2020年1月20日)	12,797	350	17.2	15,682	12.0	—	98.0	5,767
9期末(2020年7月20日)	12,905	50	1.2	14,654	△ 6.6	—	98.5	4,951
10期末(2021年1月20日)	14,751	1,400	25.2	18,348	25.2	—	99.7	4,669
11期末(2021年7月20日)	13,645	750	△ 2.4	18,744	2.2	—	99.1	3,868

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

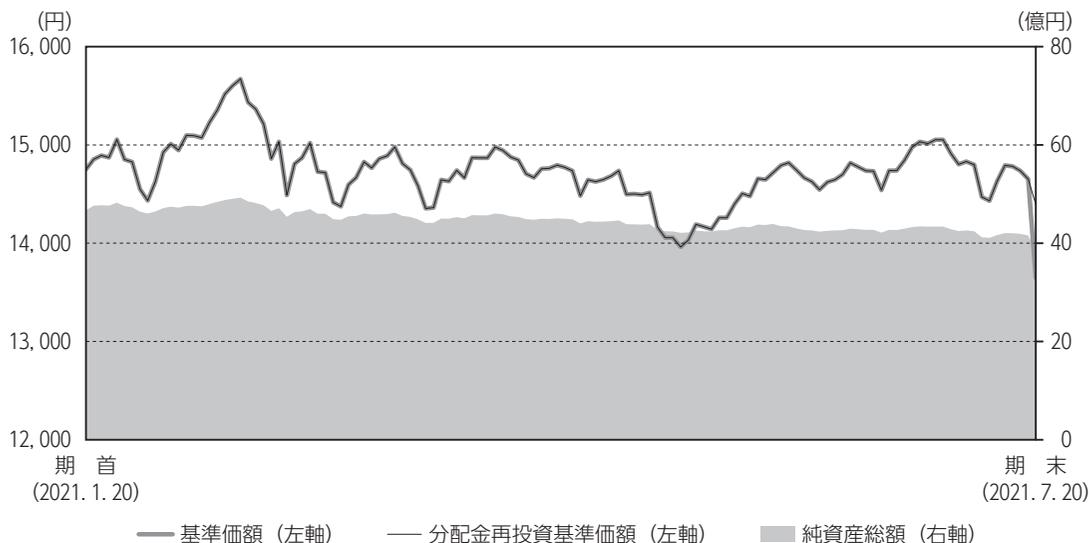
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,751円

期末：13,645円（分配金750円）

騰落率：△2.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

参考指数（MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算））よりもアジア・オセアニア株式市況の下落が大きく影響したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2021年1月20日	14,751	—	18,348	—	—	99.7
1月末	14,548	△ 1.4	18,089	△ 1.4	—	97.9
2月末	15,033	1.9	19,072	3.9	—	98.8
3月末	14,740	△ 0.1	19,086	4.0	—	99.7
4月末	14,736	△ 0.1	19,129	4.3	—	99.0
5月末	14,657	△ 0.6	19,260	5.0	—	99.3
6月末	15,014	1.8	19,480	6.2	—	99.3
(期末)2021年7月20日	14,395	△ 2.4	18,744	2.2	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 1. 21 ~ 2021. 7. 20)

アジア・オセアニア株式市況

アジア・オセアニア株式市況は下落しました。

当作成期首から2021年2月中旬にかけて、米国大統領選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化によって経済活動の正常化期待が高まったことなどから、アジア・オセアニア株式市況は上昇しました。2月下旬から5月中旬にかけては、米国長期金利の上昇によってハイテク株を中心とした高バリュエーション株式が下落したことや、台湾で新型コロナウイルスの感染再拡大が発生したことなどを受けて、軟調に推移しました。その後は、米国長期金利上昇への懸念後退などから上昇する局面もあったものの、アジア各国でデルタ株の感染が拡大したことなどから、上値の重い展開が続きました。

日本株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および上下両院共に民主党が制したことで大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、2021年3月には米国の追加経済対策などにより同国の景気回復期待が高まったことが好感され、強含みで推移しました。その後、5月には米国においてインフレ懸念が高まったこと、6月にはFOMC（米国連邦公開市場委員会）が発表した政策金利見通しから早期の利上げ観測が強まり米国金利が不安定化したことにより、株価が下落する場面があったものの、国内における新型コロナウイルスワクチンの接種が順調に進展し始めたこともあり、株価は底堅く推移しました。

為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、おおむね対円で上昇（円安）しました。

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や経済活動の正常化期待などから市場のリスク選好姿勢が強まり、アジア通貨は対円で上昇する動きとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、APエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、APエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※APエクイティ・ファンド：ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

■APエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、半導体需要拡大の恩恵を受ける韓国や台湾のハイテク関連銘柄、消費拡大から恩恵を受ける中国の電子商取引関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

国内株式市場は、堅調な株価推移に対する警戒が高まることや新規感染者増加を背景とした短期的な国内景気の悪化が下押し要因になる懸念がある一方で、今後の新型コロナウイルスのワクチン接種拡大によるグローバル経済の正常化期待が下支えとなり、一進一退の展開を想定します。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連、素材関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

ポートフォリオについて

(2021. 1. 21 ~ 2021. 7. 20)

■当ファンド

当ファンドはA Pエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。A Pエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することをめざしました。

■A Pエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING (台湾、情報技術)、LI NING (中国、一般消費財・サービス)などを高位に組み入れました。

・日本株式

業種構成は、付加価値の高い製品・サービスの供給によってアジアの製造業の成長を支える情報技術や、アジアの中間所得者層の消費拡大の恩恵を受ける一般消費財・サービスなどをオーバーウエートとしました。一方で、国内事業を中心に展開するコミュニケーション・サービスなどをアンダーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、信越化学工業、ソニーグループ、TDKなどを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

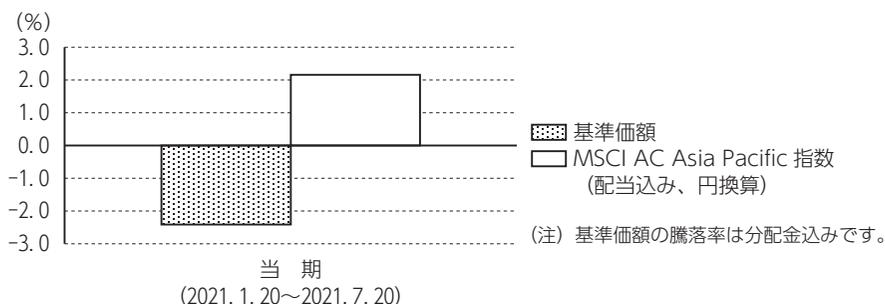
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当 期	
	2021年1月21日 ～2021年7月20日	
当期分配金(税込み)	(円)	750
対基準価額比率	(%)	5.21
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	750
翌期繰越分配対象額	(円)	3,968

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	614.11
(d) 分配準備積立金	✓ 4,104.24
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,718.35
(f) 分配金	750.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,968.35

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、APエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、APエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■APエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、半導体需要拡大の恩恵を受ける台湾のハイテク関連銘柄、スポーツ消費拡大から恩恵を受ける中国のスポーツ用品関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

新型コロナウイルスワクチン接種の進展が期待される一方、世界的なデルタ株への懸念の広がりなど強弱材料が入り交じる状況が予想され、国内株式市況は一進一退の展開を予想します。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連、素材関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 1. 21～2021. 7. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	91円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,728円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0.409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	91	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

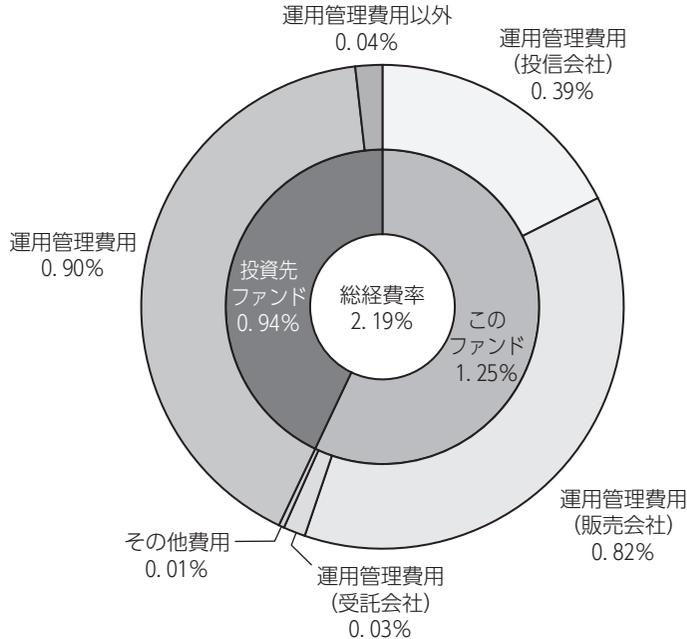
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.19%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ／ミレーアセット垂細垂株式ファンド

■売買および取引の状況 投資信託証券

(2021年1月21日から2021年7月20日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	—	—	3,803.5937849	750,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託証券

(2021年1月21日から2021年7月20日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	3,803.5937849	750,000	197				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期作成中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	19,895.4416302	3,833,254	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,958	9,958	9,967

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	3,833,254	93.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,967	0.2
コール・ローン等、その他	276,775	6.8
投資信託財産総額	4,119,997	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年7月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,369,997,141円
コール・ローン等	26,775,265
投資信託証券（評価額）	3,833,254,739
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	9,967,138
未収入金	499,999,999
(B) 負債	501,424,926
未払金	250,000,000
未払収益分配金	212,632,785
未払解約金	11,038,605
未払信託報酬	27,570,633
その他未払費用	182,903
(C) 純資産総額（A－B）	3,868,572,215
元本	2,835,103,809
次期繰越損益金	1,033,468,406
(D) 受益権総口数	2,835,103,809口
1万口当り基準価額（C／D）	13,645円

* 期首における元本額は3,165,663,061円、当作成期間中における追加設定元本額は52,476,907円、同解約元本額は383,036,159円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,645円です。

■損益の状況

当期 自 2021年1月21日 至 2021年7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,586円
受取利息	375
支払利息	△ 5,961
(B) 有価証券売買損益	△ 72,980,204
売買益	8,667,088
売買損	△ 81,647,292
(C) 信託報酬等	△ 27,753,573
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 100,739,363
(E) 前期繰越損益金	1,163,587,920
(F) 追加信託差損益金	183,252,634
（配当等相当額）	（ 174,107,292）
（売買損益相当額）	（ 9,145,342）
(G) 合計（D＋E＋F）	1,246,101,191
(H) 収益分配金	△ 212,632,785
次期繰越損益金（G＋H）	1,033,468,406
追加信託差損益金	183,252,634
（配当等相当額）	（ 174,107,292）
（売買損益相当額）	（ 9,145,342）
分配準備積立金	950,963,894
繰越損益金	△ 100,748,122

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	174,107,292
(d) 分配準備積立金	1,163,596,679
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	1,337,703,971
(f) 分配金	212,632,785
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	1,125,071,186
(h) 受益権総口数	2,835,103,809口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	750円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年7月20日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産変動計算書（2020年3月31日現在）

	(U S D)
投資有価証券簿価	32,732,339
評価損益	6,688,296
投資有価証券時価評価額	39,420,635
現金	809,736
未収利息および未収配当金	123,403
有価証券の売却から生じる売掛金	243,816
資産合計	40,597,590
有価証券の購入から生じる買掛金	37,298
未払費用	51,631
負債合計	88,929
純資産	40,508,661
J クラス J P Y シェア1口当りの純資産	126.57
J クラス J P Y シェア発行済み口数	34,768,604.299

損益計算書および純資産変動計算書 (2020年3月31日に終了した会計期間)

	(USD)
期首純資産	68,930,546
配当金 (源泉徴収税控除後)	602,919
受取利息	14,030
収益合計	616,949
運用会社報酬	27,963
投資管理報酬	367,588
保管および預託報酬	62,535
監査および法的報酬	13,254
管理および会計報酬	37,083
登録および移転手数料	10,986
年次税	5,166
出版および印刷料	1,228
その他の税金	55,295
税金計算および報告報酬	300
取引費用	101,485
その他の費用	15,851
費用合計	698,734
投資による損益 (純額)	(81,785)
実現損益	
投資有価証券売上	10,916,624
為替先渡取引	(5,247)
外国為替取引	24,237
評価損益の増減額	
投資有価証券	(10,675,096)
運用に係る純資産の期中増減額	178,733
解約に対する支出	(28,600,618)
設定・解約による収支	(28,600,618)
期末純資産	40,508,661

2020年3月31日現在の投資スケジュール (米ドル建て)

数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める 割合%
	取引所上場が認められた有価証券と金融市場商品		
	株式		
7,100	Advantest Corp.	283,647	0.70
29,200	Aia Group Limited	264,218	0.65
83,500	Alibaba Group Holding Limited	1,975,324	4.87
156,000	Alibaba Health Information Technology Limited	260,785	0.64
37,900	Anritsu Corp.	699,843	1.73
30,753	Apollo Hospitals Enterprise Limited	464,592	1.15
44,130	Asian Paints Limited	975,397	2.41
446,000	Bank Central Asia Tbk Pt	755,385	1.86
28,457	Britannia Industries Limited	1,014,877	2.51
22,500	Casio Computer Company Limited	314,194	0.78
898,000	China Feihe Limited	1,610,068	3.97
158,510	China International Travel Service Corp. Limited - A	1,498,367	3.70
131,000	China Merchants Bank Company Limited - H	591,415	1.46
156,000	China Overseas Land & Investment Limited	483,941	1.19
2,303	CSL Limited	415,999	1.03
11,600	Daifuku Company Limited	731,441	1.80
5,800	Daikin Industries Limited	703,144	1.74
14,700	Daiwa House Industry Company Limited	362,307	0.89
600	Fast Retailing Company Limited	244,065	0.60
60,081	Foshan Haitian Flavouring & Food Company Limited - A	1,057,864	2.61
1,900	Fujimori Kogyo Company Limited	51,158	0.13
5,500	Gmo Payment Gateway Inc.	383,762	0.94
120,000	Haidilao International Holding Limited	467,456	1.15
7,421	Hangzhou Hikvision Digital Technology Company Limited - A	29,125	0.07
5,300	Han's Laser Technology - A	21,017	0.05
96,416	HDFC Bank Limited	1,102,168	2.72
42,256	Hindustan Lever Limited	1,288,174	3.18
12,200	House Foods Corp.	395,867	0.98
5,500	Hoya Corp.	465,780	1.15
83,114	Jiangsu Hengrui Medicine Company - A	1,075,959	2.66
2,400	Kao Corp.	195,075	0.48
1,200	Keyence Corp.	384,738	0.95
10,200	Kito Corp	93,611	0.23
461,000	Li Ning Company Limited	1,346,858	3.33
9,400	Menicon Company Limited	417,499	1.03
78,400	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	290,838	0.72
18,300	Mitsui Chemicals Inc.	345,499	0.85
14,600	Murata Manufacturing Company Limited	735,410	1.81

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める 割合%
8,500	NEC Corp.	308,671	0.76
1,521	Nestle India Limited	328,832	0.81
15,156	New Oriental Education & Technology Group - ADR	1,652,004	4.08
18,900	Nichias Corp.	352,130	0.87
4,300	Nitori Holdings Company Limited	577,107	1.43
9,300	Nitto Boseki Company Limited	408,777	1.01
4,900	Oriental Land Company Limited	623,353	1.54
18,800	Pacific Industrial Company Limited	162,846	0.40
19,200	Pan Pacific International Holdings Corp.	362,138	0.89
9,400	Pigeon Corp.	358,660	0.89
116,000	Ping An Insurance Group Company of China Limited	1,139,412	2.82
3,900	Sakata Seed Corp.	117,752	0.29
13,479	Samsung Electronics Company Limited	528,710	1.31
16,400	Santen Pharmaceutical Company Limited	280,492	0.69
13,400	Sato Holdings Corp.	261,746	0.65
3,700	Screen Holdings Company Limited	136,236	0.34
118,508	Shanghai International Airport - A	1,013,713	2.50
7,100	Shin-Etsu Chemical Company Limited	701,275	1.73
1,200	SMC Corp.	505,362	1.25
18,900	SMS Company Limited	364,134	0.90
14,000	Sony Corp.	827,487	2.04
7,300	Sumitomo Mitsui Trust Holdings Inc.	209,925	0.52
8,000	Suzuki Motor Corp.	190,325	0.47
41,719	Sydney Airport Finance Company Pty Limited	141,989	0.35
4,500	Systemex Corp.	325,006	0.80
122,000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	1,105,364	2.72
7,705	Tal Education Group - ADR	400,660	0.99
15,800	Tayca Corp.	208,999	0.52
6,100	Tdk Corp.	470,548	1.17
20,300	Tencent Holdings Limited	995,545	2.46
57,246	Vietnam Dairy Products JSC	218,794	0.54
7,300	Yamaha Corp.	283,238	0.70
	株式合計	39,358,097	97.16
	債券		
45,152	Britannia Industries Limited 8.000% 28/Aug/22	62,538	0.15
	債券合計	62,538	0.15
	取引所上場が認められた有価証券と金融市場商品合計	39,420,635	97.31
	投資有価証券時価評価額	39,420,635	97.31
	現金	809,736	2.00
	その他の資産	278,290	0.69
	純資産総額	40,508,661	100.00

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年7月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年1月21日～2021年7月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年7月20日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

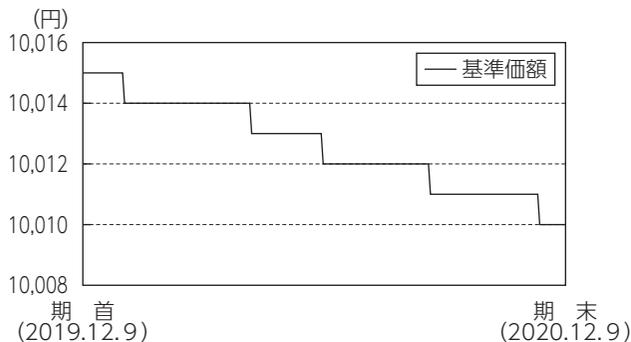
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2019年12月9日	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C+D+E+F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。